

岡山県在住外国人生活状況調査 設計・設問	
調査概要	
調査時期	H21年7月～8月
調査目的	県及び市町村の多文化共生施策の基礎資料とするため
対象	県全域の外国人登録者(1991年1月1日以降来日、20歳以上)
対象者数	2000程度
抽出方法	無作為抽出(市町村に依頼)
有効回答	500以上(目標)
設問数	54
調査票頁数	8頁程度
調査票の言語	日本語、英語、中国語、韓国語、ポルトガル語、タガログ語
調査項目	
1 基本属性	性別
	年齢
	国籍
	在留資格
	日本滞在期間
	岡山県での滞在期間
	居住市町村
	今後の滞在予定
世帯構成	
2 日本語等	日本語の能力(話す、聞く、読む、書く)
	日本語の学習状況
	日本語の学習方法
	学習しない理由
	日本語以外の言語
3 仕事	生活環境(収入、仕事量)
	就労状況
	現在の仕事(内容、雇用形態、見つけ方、仕事への不満)
4 子育て・教育	子どもの年齢
	子育て(方法、困っていること)
	学校(日本の学校への通学、要望、教育方法、心配事)
5 住宅	現在の住まいの形態
	住宅に関して困ったこと
6 医療・保険	保険、年金への加入状況
	→ 加入しない理由
	けがや病気の時どうするか
	→ 病院へ行かない理由

7 防災	災害発生時の情報入手先
	知っておきたい防災情報
8 生活情報	生活情報の情報源
	行政等の情報の充足度
	提供してほしい公的情報
9 困りごと・相談	困っていることや不安なこと
	日本人とのトラブルの経験
	日本人とのトラブルの原因(内容)
	共生に必要なこと
10 地域社会	地域で参加している活動
	活動に参加しやすくなる方法
	普段の付き合いの範囲
	地域の国際化のためにできること
11 行政サービス等	外国人支援団体のサービスの利用状況
	外国人支援団体のサービスの要望
	行政サービスへの要望
12 その他	自由意見